

会 議 録

平成 22 年 7 月 15 日調製

審議会等名	平成 22 年度 第 1 回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 22 年 7 月 2 日（金） 午後 2 時～午後 4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	無
出席者氏名	関委員長 宮島副委員長 小林委員 佐藤委員 豊岡委員 渡邊委員 名島委員 西潟委員 六原委員 説明のための職員 金子生涯学習課長 長谷川生涯学習課主査 三巻文化振興係主任 指定管理者 太向館長 村山業務副責任者 佐藤業務副責任者
市民憲章唱和	全員で市民憲章を唱和
協議題	(1) 平成 21 年度の図書館利用状況について (2) 平成 22 年度 4 月以降の利用状況について (3) 図書館開館 90 周年記念事業について (4) その他
生涯学習課長	あいさつ
関委員長	<p>新委員に小林さん・佐藤さんをお迎えした。この協議会に新しい風をお願いしたい。</p> <p>6 月 28 日に第一中学校区の小中一貫校教育の協議会（第 4 回）が開かれ、私も図書室を真ん中につくってほしいとお願いした。子どもが集まりやすく、本に触れられるところにつくる必要がある。栃尾の刈谷田中学校は学校の玄関が吹き抜けになっていて、真ん中のホールのようなところが図書室兼用になっており、休憩時間になると子どもたちがそこに集まってくる。管理はちょっと大変だが、子どもたちは休憩時間に本を手にとれる。そういう学校が県内にあるので、そういうお願いをした。</p> <p>市の図書館も同じで、市民が来やすい、条件のよい場所がないと、市民は来ない。</p> <p>それでは、第 1 回の協議会に入る。昨年度の図書館利用状況、今年度 4 月以降の利用状況、そして 90 周年記念事業についてご審議いただきたい。</p>
館長	資料 No.1、2 に基づき、平成 21 年度の利用状況について説明
六原委員	<p>嵐南公民館分室は子どもの利用が少なくなっているが、三条市はいろいろ統合化を目指しているようなので、削ってしまおうと考えられるとよくない。そこにしか行けない子どもたちもあり、数だけで判断すればいいというものではないと思う。数字だけに走ることなく、考えてほしい。</p>
生涯学習課長	<p>確かに子どもさんの貸出冊数を見ると、本館が 1,431 人の減、嵐南分室が 9 人の減なのに対し、栄分館は 2,378 人増で、約 3.5 倍。すまいるランドと一緒に栄に人が流れているのが一つの大きな要因かと思う。相対的には増えているし、全体的な変動にもなっていないので、この数字をもってどうするという段階ではないと思っている。</p>

関委員長	これは読み取りが重要。図書館は幾つかあるが、例えばコンパスを使って、歩いて図書館に来れる半径2キロぐらいの円を書き、その中に何人子どもがいるかを考えてみる。今回本館の利用が3,354人と出ているが、三条小学校にはそれほど子どもはいないはずなので、「ではどこの子どもたちが来ているのか」と考えると、一つの見方ができると思う。保内や井栗の子どもはほとんど来ていないと思うから、裏館や四日町だろうと。漢学の里分室の場合も、子どもの利用が40人しかいなかったというが、あの周りの小学校を考えると、もともと子どもがあまりいないのだから、利用が少ないのは当然。つまり、各館ごとに子どもの密度が違っており、数字だけでは比べられないところがあるので、そういうところも配慮して読み取りを行い、ぜひ「利用が少ないからつぶす」などということがないようにしてほしい。
館長	図書館の立場としても、嵐南分室を引き続きご利用いただいている方、漢学の里分室をご利用いただいている地域の方が当然いらっしゃるわけだから、数字が少ないから資料を減らすとか、そういうことにはまったくならない。少なければ逆に、よりきめ細かに、その地域の方々にどういうものが求められているのかを考え、充実させていくことが必要と思っている。
関委員長	ここにいらっしゃる方はおっしゃらないと思うが、議員さんがよく数字だけを見て、「利用が少ない」と言われる。公民館などについても、数が減った・増えたばかりを見ている人がいるので、そういう意見に対してきちんと対抗できるようにお願いしたい。 栄分館はすまいるランドとの相乗効果で、確かに利用が増えている。子どもと遊びに行ったら目の前に図書館があるから寄ってみよう、という、いい効果が出ている。
豊岡委員	子どもたちは、1回行ってもまた時間が経つと行ったり、帰る時も寄ったりするし、本館にすぐ来れる方が、わざわざ車で栄に来ていらっしゃるのにもけっこうお会いする。だから、数字だけでは読めないと思う。今日も午前中に行ったが、大人だけの方はほとんどいらっしゃらず、子ども連れが4~5人いて、とても気楽な感じで過ごしていた。
館長	私も昨日の午前中に行ったところ、すまいるランドが満員で、分館もそれにつれて入ってくださっている感じで、ありがたかった。立場的につい数字を気にしてしまうので、開館2年度目に入った今年、前年比がどうしても気になってしまうが、幸い順調にご利用いただいているので、前年より数字が多少落ち着くということがあるとしても、あまり細部にこだわりすぎず、前向きに考えていこうと思う。
関委員長	栄分館、大変にぎわって大盛況だ。あとは、大人の利用をいかに増やすかが課題。それでは協議題(2)の、今年度4月以降の利用状況についてお願いしたい。
館長	資料No.3、4に基づき、平成22年度4月以降の利用状況について説明
関委員長	4月、5月の利用状況と、春以降行ってきた子どもさん中心のいろいろな催し、これから実施予定の事業も含め、質問やご意見をお願いしたい。
六原委員	ボランティアの育成について。今活動しているボランティアのメンバーは、ぜひ若い方に加わっていただけたらと思っている。小さい子どもさんがいるお母さんにこそやっていただきたいと思うが、子どもを連れてはということもあるし、「講座」とい

	<p>うようなやり方ばかりだと、かしこまって教えてもらうという形になってしまい入りにくい。もっと子どもを連れていても入れる、教える側も「大先生」という感じの方ばかりでなく、身近な先輩のような方にやっていただいて、気軽に「聞いてみようかな」「やってみようかな」と入れる機会にできないものか。イケメンのお父さんに読み聞かせを知ってもらおう機会もほしい。子どもの反応を見ながら「こうやるんだよ」と教えたり、講師の子育て経験なども話しながらやっていただくのもいい。「講座」のような人をそろえるやり方ばかりではなかなか集まりにくい。</p>
豊岡委員	<p>すまいるランドでやっている育児相談には、けっこう人が来ている。ボランティア講座も図書館だけでなく、すまいるランドで月に1~2回行うといいのではないかと。図書館だとどうしても「子どもをどうしよう」となってしまうが、すまいるランドであれば子どもを遊ばせながらできる。あそこも常に何かやっているわけではないので、月に1回か2回であれば、可能な時間帯があるはず。</p>
関委員長	<p>すまいるランドはどこが管轄しているのか。</p>
生涯学習課長	<p>子育て支援課。</p>
館長	<p>すまいるランドと栄分館はすでに、日常的に協力し合いながらやらせていただいているので、都合さえ合えば、積極的にやらせていただければいいのではないかと。むしろ、「もっと身近な、敷居の低い講座」という、貴重なご意見をいただいた。むしろ、「講座」と呼ばないほうがいいのかも。今まで、教室のようにしっかりした形で行わなければならないという意識が強かったが、本当におっしゃるとおりだと思う。もっと皆さんに気軽に、「ちょっと聞いてみよう」「私もやってみようか」としてもらえる形を考えてみたい。</p> <p>また、すまいるランドに限らず、前回の協議会でご意見をいただいた、図書館から遠隔の公民館などをお借りして、普段なかなか図書館には来にくい地域の方にもご参加いただける機会もつくっていかうと考えている。</p>
関委員長	<p>小林委員さん、小学校1・2年生あたりの先生は、読み聞かせを広げることがよくやっている気がするが、父兄の方に入ってもらうのはあまりやっていないのか。</p>
小林委員	<p>裏館小学校では、もう何十年にもわたり、保護者の皆さんで読み聞かせの会をやってくださっている。毎月1回、特別支援学級も含めた1年生から4年生に対し、朝読書の時間に読み聞かせの方が来てくれている。4年生などは自分たちで読んでいるが、保護者の方は代々引き継いでいるし、昨日も1歳ぐらいのお子さんがいらっしゃる方が、「私も入れてもらえるか」と言って会員になられた。そのように、小さいお子さんがいる方でも積極的に入ってくれるところがあり、とてもいいと思っている。</p> <p>昨日は比較的多くの時間を割いて、3年生の2つの学級で読み聞かせをしてもらったが、子どもがうわぁと食いつくように聞いているのを見ていて、私がこれくらい驚いているのだから、ほかの24校の校長先生方はほとんど知らないのではないかと。もっと早くこういうことがわかっていれば、と思った。こうして読み聞かせの方がいて、学校にかかわってもらえることがあるのに、かわりとして薄かったのではないかと。1・2年生もそうだが、大きい子も本が好きだし、読み聞かせは非常に興味を持って聞いている。昨日も1年生の担任の先生が休んでいたため、私がちょ</p>

	<p>っと行ったら、「校長先生読み聞かせしてくれるの？」と言う。「いいよ」と言ったら、子どもたちは机を下げて椅子を引いて、真ん中に私の椅子を一つ用意してくれて、「はい、どうぞ」と。子どもたちは慣れていて、そういうのをしてもらえることを楽しみにしている。そういうことを学んでいくのは大事だと思うので、図書館ばかりでの研修ではなく、すまいるランドでそういう機会ができるなら、いいことだと思う。</p>
関委員長	<p>裏館小学校はいつもこの協議会に参加されているが、中学校も含めて三条の読書教育・図書館教育の中心校なので、いろいろやってこられたと思う。小林先生は今年度赴任されて、新鮮な気持ちで「こんなことをやっているのか」と思われていると考え、お聞きした。二十数年前に裏館小と三中で、長岡地区の図書館教育の大きな研究会をやったことがある。それで裏館小は、小学生の読書についていろいろやったし、三中も朝読書・放課後読書といって、その期間だけだったが一生懸命本を読ませた。図書館の本を先生方が1クラスにつき40冊か50冊、1人1冊分ぐらい出してきて、各教室に本棚を置いて。授業が終わった後に10～20分、読書の時間といって本を読ませ、ひと月サイクルで本を回すという研究をしたこともある。時間を取るのが大変で、研究が終わったらやめてしまったが、裏館小もそのように図書館教育をやってきたので、いろいろなことを考えられたと思う。</p>
小林委員	<p>もう1つ。裏館小学校も校舎改築を行うが、私が赴任する前の話として、中庭にある木を切らないで移設するというのが、新築の条件の大きな柱としてあった。裏館小は図書館中心校だから、私も「図書館をメインにした学校をつくってほしい」と言った。今はほかの図書館と同じような感じだし、できたら将来図書館司書が入られてもいいように、倍ぐらいの大きさにしてほしいし、子どもに寝そべってももらいたいし、調べ学習ができる情報センターにもしたい。そういう方向にいてほしいと思っているが、予算面の問題とか、「裏館小学校が図書館をやっていたのは昔の話だろう」と言う方もおられる。教師がどんどん変わり、子どもや保護者も変わっていくと、見えなくなってしまうところがいっぱいあるだろうと思う。子どもたちは「今日は読み聞かせに来てくれる日だ」と思うと浮き浮きしているが、教師のほうは、打ち合わせをしてもなかなか動かない。でも、みんなでそういう活動をしていけば、算数の計算とか漢字を書くのも大事だが、本当に本を好きになるのが自然にできるのではないかと私は思っている。</p>
名島委員	<p>私も午前中、森町小学校の3～4限でお話と読み聞かせをやってきたが、子どもたちがすごく集中してくれる。ちょっと暑かったので、子どもたちも疲れたかなと感じたが、それでも1年生から6年生までとてもよく聞いてくれた。図書館をよく利用している明るい感じなのだが、ほかの学校はどのようにしているのかと思っていた。</p>
関委員長	<p>そういう時、お母さん方はもちろん、父兄にも案内しているのか。</p>
名島委員	<p>それはやっていない。</p>
関委員長	<p>そう機会を見てもらって、「ああ、あのぐらいであれば私もできる」と、やはり若い人を巻き込んでいかないと。大先生に来てもらう講座ばかりでなく、「私にもできる」という形の機会がいい。</p> <p>ボランティアについていろいろ出たが、ほかにないか。</p>

西潟委員	昨日回ってきた広報には、8月に行う「一日こども図書館員」の詳しい内容がまだ書いてなかったので、子どもには強く勧めなかったのだが、「図書館の本みたいに自分の本にコートをかけます」というのは、自宅から本を持っていくことになるのか。
村山業務副責任者	ご自宅から持ってきていただいた本に、図書館で用意したフィルムコートをかける作業をやっていただき、でき上がったものを持って帰っていただく。
関委員長	このチラシは、どこでもらうのか。
館長	まだ準備中で、今後図書館で配布するし、学校にも配る予定。
関委員長	西潟委員さんの質問にあったように、これからつくるのであれば、「図書館でフィルムコートをかけるので自分の本を持ってきてください」と書くとよくわかる。子どもも見るので。「かけたい本を持ってきて」と。
館長	参加を促すことにもなる。
六原委員	自分でインターネットをしないので具体的な状況がよくわからないのだが、知人から言われたので。以前は資料の予約をすると「受け付けました」というメールが来て、資料が用意できるともう一度メールが来たが、今回図書館システムが変わったら、最初のメールが来なくなった。入力したきりでちょっと不安なので、予約できたかどうか自分で確認するメニューがあるなら、自分で確認するのがと。
館長	予約状況の確認方法があるが、ご案内が足りないかもしれない。
六原委員	それを十分にしていただけたら安心できる、という話があったので。インターネットで借りたい方もいらっしゃるんだなと思ったが、それができることは市民の方々に伝わっているのだろうか。
館長	ホームページをご覧いただければもちろんわかるようになっているし、新規登録くださった方には、図書館の利用案内をお渡ししてご説明している。今回のシステム変更でご予約者へのメールを1回にしたのは、何度も何度もメールが来るというご意見もあったため、今ご説明したように、ご予約内容は自分で確かめていただくことができる。もっとご案内をわかりやすくしたい。
六原委員	そう。もっと親切だといいとその方はおっしゃっていた。
関委員長	今のはメールの話だが、例えば私の町内会の役員15人のうち、コンピューターが使えるのは会長と私だけ。三条市は「インターネットで」とよくいうが、市政だよりさえ読んだことないという人もいるから、市民に知らせるといのはものすごく難しいと思う。よく配慮してほしい。
館長	その点では私どもも、ホームページに出したからそれで皆さんが見てくれる、とは思わないようにしている。メールやホームページについては、日ごろからそうしたものに熱心で長けた方がいろいろご意見をくださるが、多くの方がまだそうではないので、引き続きいねいに、電話でもカウンターでも対応していく。
関委員長	それでは協議題(3) 図書館開館90周年記念事業について説明をお願いしたい。
館長	別紙資料に基づき、角野栄子氏講演会の計画について説明
関委員長	今の計画について、まだ細部については決まっていないところあるそうだが、何かあれば。
六原委員	会場は図書館ではなく、東公民館？

館長	図書館では広い部屋がないのでお借りした。
六原委員	ちょっと思ったのだが、本来はやはり、図書館を拠点としてやるべきではないか。それほど大々的なイベントとか著名人でなくていいので、もっと身近な催しとして、思い入れがあるものをやるといいのではないかと思う。
関委員長	図書館はどんな部屋があって、どのくらい入るのか。東公民館の多目的ホールというのは。
館長	この視聴覚室が一番大きくて、なんとか100人。しかし、かなりぎゅうぎゅうになると思う。東公民館の多目的ホールは、定員180名。
関委員長	集めるお客さんは、大人が対象か、子どもさんか。
館長	主に大人だが、ご家族皆さんでおいでになっていただきたいと思っている。
関委員長	「親子・家族の絆を深める」とあるから、主に親か。
豊岡委員	託児ルームみたいなものは？
館長	用意する。 この講演会は講演会として、先ほどご意見をいただいた、この図書館そのものでもっと身近な記念事業をやってもいいのではないかと、ということについて、冬に行うおはなし祭などを「90周年記念」という形にしてもいいのかもしれない。今後相談してみたいと思う。
関委員長	成功させるために、いいヒントやご意見があったら、いつでもまた館長さんのほうへ言っていたきたい。 では、最後に「その他」についてお願いしたい。
生涯学習課 長谷川主査	「第二次三条市子ども読書活動推進計画の策定について」という資料のご説明とお願いをさせていただきたい。平成18年3月に策定した「三条市子ども読書推進計画」は5カ年の計画で、本年度23年3月までとなっており、引き続きその後の計画を策定したいと思っている。策定期間は引き続いて、23年度から27年度までの5年間。 「策定委員による検討」と書いた通り、今後また各団体等に委員の推薦のお願い文書を出させていただくのでよろしくお願いしたい。策定委員等の方にお集まりいただき検討したものをもとに、その後市民の皆さんにご意見をいただいて2月には策定し、3月には冊子として出させていただきたい。先ほど課長からもお話ししたが、4月に各学校の保護者等に、「策定のための環境調査」ということでアンケートを取らせていただいております。裏面はスケジュールで、6月に策定委員を選考し委嘱、事務局としてアンケートをまとめるということで、委嘱の選考が若干7月にずれ込む状態になっているが、今年度は大体このような計画である。また皆さんにご協力をお願いすることもあると思うので、よろしくお願いしたい。
関委員長	これで予定した協議題については終了したが、全体を通して、あるいはこれ以外のことで何かあれば。
渡邊委員	自動車文庫について。昨年度貸出数が少し減ったという説明を聞いて思ったのだが、私のいる大島地区の場合、図書館は遠くてあまり行けない。それだけに大島小学校の場合、80人規模に対して昨年度の自動車文庫の貸出人数711人というのは、み

	<p>んな楽しみに待っているんだなと思った。須頃小も 487 人と多いし。</p> <p>大島や須頃を含めたいいくつかの学校では、地域の方と保護者が主体となって、「放課後子ども教室」というのを土・日と平日の放課後にやっている。大島も須頃も、それへの参加人数がすごく多いところだし、他の学校も例外はないと思うので、それと自動車文庫を結びつけて、間口を広げることはできないものかと思った。</p>
館長	<p>時間帯の調整ができれば、通常の学校訪問とは別な形で訪問できるかもしれない。</p>
渡邊委員	<p>大島だけのことがわからないが、今年度から保護者の会員がかなり入っているので、読み聞かせに興味を持っている方を発掘する機会もつくれるのではないかな。</p>
小林委員	<p>「放課後子ども教室」はボランティアが中心でやっていられて、現在市内の小学校 9 カ校が実施している。子育て支援課が音頭を取り、支部で立ち上げて、土曜日の午前 9～12 時頃と、月～金だと多くの学校は水曜日午後の 2 時間程度だと思う。ただ、曜日変えもするので、行ったけどやってないということもあるのが実態。</p>
関委員長	<p>児童館とは別に「児童クラブ」とか「子ども教室」とか、いろいろあって混乱する。</p>
小林委員	<p>「児童クラブ」と「放課後子ども教室」は、学校の施設の中にあるもの。大島小学校は自動車文庫が行っているのなら、全校の児童に本の貸出ができていないわけなので、「放課後子ども教室」の時にまた行くというのは、二重になるような気がする。</p>
渡邊委員	<p>ボランティアの方たちと読み聞かせの話をする、といったことができればいい。自動車文庫でなくても。</p>
館長	<p>自動車文庫の運行は現在のところ貸出に特化しているので、違う形を考えてみたい。</p>
関委員長	<p>館長さん、また研究されて、いろいろ希望がかなうようお願いしたい。</p>
佐藤委員	<p>わからないことがあるので聞きたい。自動車文庫というのは具体的にどんな車で、行き先はどのように決めているのか。井栗公民館に来ているのを私は知らなかったのだが、地域の方はどの程度知っているのか。サービスの内容を教えていただきたい。</p>
館長	<p>自動車文庫というのは、トラックと一般ボックスカーの中間ぐらいの大きさで、側面のドアを開けると本棚になっており、車の周りに集まっていれば本棚に並んでいる本を見ていただける。また、運搬箱に入った本もあり、それも周りに並べる。今は地域館というもの（三条市では分館・分室）が増えたが、図書館が地域的に少ない時代に生まれたサービスで、図書館へは来にくい方々のところへ図書館のほうから出かけていってご利用していただくというもの。</p> <p>私ども（指定管理者）は平成 20 年度から運営を委託され、ステーションについても従来からのところを引き継いで開始した。そして 21 年度になる際、下田地区でご利用がほとんどなかったステーションについて、別の施設にお話を持って行って変更したということはある。そうした変更が時々あるが、多くのステーションは、長年コツコツと回り続けているところだと思う。</p> <p>そのように歴史があるが、せっかく回っていても自動車文庫が来ていることをご存じない方がいらっしやるとすれば、今日も「アナウンスが大事」というお話が何度か出たが、それにもっと力を入れる必要があると思う。『広報さんじょう』でも年に 1 度、「今年度も自動車文庫が回ります。どこどこにお邪魔します」と掲載している</p>

	が、しかし年に1度だけ。もっと広げていくためには、例えばその地区の公民館に、「いついつ自動車文庫がやってきます」というチラシを置いていただくといったことが必要になると思う。我々も慣れてきてしまうとそういうことに気がつきにくくなるので、あらためて意識してやっていく必要があると思った。
関委員長	学校の先生からも宣伝してもらおう。小林校長先生、ひとつお願いする。特に笹岡とか荒沢、須頃とか、自動車文庫が行く地区の校長先生方に、校長会のときでも。先生方から子どもたちに、「何曜日に自動車文庫が来るので、ぜひ本を借りましょう」という呼びかけを。
小林委員	次の校長会にでも。
館長	補足説明をさせていただくと、回る車は1台なので、曜日により「今日は大島地区のここここ。今日は栄地区のここここを回る」というように運行している。したがって、今のお話に結びつけた場合、全部の学校さんから「じゃあ 曜日来い」とおっしゃっていただいても、残念ながら回りきれないことも考えられるが、コースと時間帯さえ合えば、積極的に何うようにしている。ご要望をぜひ伺いたい。
関委員長	いみじくも佐藤先生が質問されたが、今年度転勤で三条に来られた先生方も相当いらっしゃり、自動車文庫があるというのを知らないのではないかと思う。まずはそういう方に知ってもらうのが一番いい。
六原委員	車を派手に、デコレーションみたいにして、もっと目立つようにしてはどうか。「まいどおなじみの」じゃないが、アナウンスもしたり。
館長	ステーションの近くに行くと、チャイムを鳴らしている。
六原委員	そうなのか。遭遇したことがない。
館長	ステーションが近くなったら鳴らしており、どこでも鳴らしながら走っているわけではないので。呼び止められて「ここで貸してくれ」と言われても困るし。
関委員長	7月に、春転勤されてきた校長先生方が校長会で、三条のことをいろいろ話されるが、校長先生の知らないこともたくさんある。多分、図書館のこととか自動車文庫までは話がいかないと思うので、機会をとらえてぜひそういう話をさせていただきたい。 では、終わりにしたい。自動車文庫は、今日は残念ながらまだ戻ってきていないそうだが、委員の方々はまた来られた時にでも、ぜひ見ていただきたいと思う。では、第1回協議会を終わりにしたい。ご苦労さまでした。